

ツナガル！ ヒロガル！ 〈ろうきん〉運動の

輪

今回の運営委員会

伊東支店

伊東支店運営委員会(12人)



運営委員会とは……会員(組合)の代表者と(ろうきん)の営業店職員で構成される組織。(ろうきん)の運営を民主的に行なうために、理事会に向けて、各会員の率直な意見を発信し、理事会で決定された方針や事業計画を各営業店の立場から、より具体化して地域会員・勤労者に展開しています。

お話をうかがった 運営委員さん

●運営委員長
土屋成人さん
(東海自動車労働組合)



●副運営委員長
庭野順一さん
(伊豆急行労働組合)

このコーナーでは、独自の活動を展開する運営委員会の様子を紹介していきます。

東海岸沿いは、放映されているテレビ放送局も含めて、関東エリアの影響が非常に強く、まだまだ〈静岡ろうきん〉の有利性について知らない「働く仲間」がとて多いのが実態です。そこでわれわれ運営委員会は、まず、〈静岡ろうきん〉を知らせる活動を、まじめにかつ、着実に展開していくことを基本的な柱にしています。

伊東支店運営委員会は12名で活動しています。伊東支店管轄を含めた伊豆地域は、大きな工場が少なく、いわゆる観光関連のサービス業に従事する方が約5割といわれています。こういった伊豆地域の事情は、他の支店とは少し違う面もありますが、伊豆の気候と同じように穏やかな雰囲気の中で、地域における運営委員会の役割発揮を意識して活動していきます。

！**運営委員会が主体となつた〈ろうきん〉広告宣伝活動！**

！**厳しい地域事情だからこそ…**

伊豆地域はリーマンショック以降、地震などの風評被害もあり、経済の冷え込みが続いており、組合員の生活も厳しい状況にあるのが現状です。運営委員会としても、〈ろうきん〉に合わせた実践をテ



この「らっぴんぐバス」は、子どもたちにとっても人気で、イベントに使用されることもあり、子どもの頃から〈ろうきん〉に接してもらつても良い機会だと思っています。また、他にも、市の水道の領収書や地方新聞に広告を掲載したり、最近では「コミュニティFM」でCMを流すなど、いろいろな広告宣伝活動にチャレンジしています！

知らせる活動の中で、効果を発揮しているのが、全面に〈ろうきん〉のイメージキャラクターである「ロッキー・ペンキー」をデザインに取り入れた「らっぴんぐバス」です。伊東市内を中心に走行しており、いまでは伊東市民の中では知らない人がいないくらいに反響を呼んでいます。都会は情報が溢れており、広告宣伝効果が期待以上にないことが多いと聞きますが、伊豆地域では、とにかく「らっぴんぐバス」が目立つんです。広告宣伝効果は絶大です！

！**今後の運営委員会活動について**

伊豆地域の厳しい状況がすぐに回復するとは思っていません。しかし「自主取組目標」



このコーナーでは、運営委員会の活動を紹介します。「取材に来て欲しい」「ミーツに載りたい」という運営委員会は、ぜひミーツ編集室へご連絡ください。



話は少し変わりますが、伊豆地域はとて風光明媚で、気候も良く、山あり・海あり・温泉もあり、とて美しい観光スポットです。伊豆地域の活性化のためにも、ぜひ多くの方に足を運んでいただきたいと思つています。伊東支店運営委員会としても大歓迎いたします！

！**運営委員会の仲間へのメッセージ**

伊豆地域は、改めてとても温和でまじめな方が多いなあと感じる事がよくあります。例えば、〈ろうきん〉で住宅ローンを利用している組合員が、「他行から借換提案を受けたけど、どうすればいい？」と事前に知らせてくれるんです。ある支店では、組合員自身が自ら手続きを進めて、何も相談なく他行に借換してしまうケースも多いと聞きます。そういう意味では、この運営委員会を中心とした伊豆地域の「コミュニティ」を大切にしていくことも重要だと考えます。

マに、各会員事情にあわせた「知らせる活動」から、〈ろうきん〉を上手に利用してもらつ工夫をしています。具体的には、各運営委員会員に、「自主取組目標」の設定をお願いしています。この目標は、決して押し付けではなく、例えば家計見直しをテーマとした「ロッキースタッフ」の実施や、定例積立の重要性を訴える「財形預金・エース預金」など、厳しい家計の組合員が必要とする商品やサービスなどの項目に絞っています。